

## 「2018年度『顧客本位の業務運営に係わる実践計画』」にかかる 主な取組みの最終状況について

七十七証券株式会社（社長 鈴木 勇）では、「<七十七>お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づく、「2018年度『顧客本位の業務運営に係わる実践計画』」にかかる主な取組みについて最終の状況をお知らせいたします。

### 記

#### 1. お客さまにふさわしいサービスの提供

主な取組内容（計画）	取組状況
(1) 勧誘・販売ツールの充実（オンライントレードの導入検討を含む）	(1) オンライントレードの導入については、2018年7月に組織決定しており、稼働に向けて準備を進めております。なお、2019年10月の稼働を予定しております。
(2) 商品販売状況（時期、種類、金額）のモニタリング・分析の実施	(2) 金融商品の日々の販売データからシステムチェックを行うなどのモニタリングを強化し、お客さまにとっての不公正な取引の有無等について検証などの分析を行っております。
(3) 金融商品の販売にかかる成果指標（KPI）の策定・公表	(3) 自主的に策定したKPI（2018年9月末時点）を2018年11月に公表しております。2019年3月末時点の数値は、自主的KPIとともに、金融庁が定めております共通KPIと併せて公表いたします。
(4) 投資信託の販売上位銘柄の調査（商品名、販売額、構成比等）	(4) 投資信託の販売上位銘柄の調査は毎月行っており、上位10銘柄について、自主的KPIとして年2回（9月末基準、3月末基準）公表してまいります。

<p>(5) 多様化するお客さまニーズを踏まえた商品ラインアップ等の見直し</p> <p>(6) お客さまへのフォローアップの充実</p> <p>(7) お客さま満足度調査の実施</p> <p>(8) 七十七銀行と連携した投資信託セミナーの開催</p>	<p>(5) お客さまのニーズを踏まえた投資信託や外国債券等の商品を投入、入れ替えるなど適宜、商品ラインアップの見直し、拡充を図っております。</p> <p>(6) 当社内でのルールに基づくお客さまへのフォローを実施するとともに、相場急変時等におけるフォローアップも徹底しております。</p> <p>(7) 2019年2月にお客さま満足度調査を実施いたしました。頂戴したご意見等を踏まえ、今後の業務運営等に活かしてまいります。</p> <p>(8) 2018年8月および2019年2月に七十七銀行と連携した投資信託セミナーを開催し、受益者の皆さまに対し、投資信託ファンドの運用状況等について説明、報告いたしました。今後も継続していく予定です。</p>
--	---

## 2. お客さまに分かりやすい情報提供

主な取組内容（計画）	取組状況
<p>(1) 資産運用、マーケット状況に関する情報提供のためのセミナー開催</p> <p>(2) お客さまにより分かりやすい情報提供を行うための営業店指導の実施</p>	<p>(1) 2018年4月、7月および2019年1月に投資信託セミナー等各種セミナーを開催し、お客さまに対し資産運用、マーケット状況に関する情報を提供いたしました。今後も継続していく予定です。</p> <p>(2) 日々の取引に対するモニタリングにより説明状況の確認、チェック、営業担当者への指導を行うとともに、営業担当者への研修を随時実施するなどしてお客さまへの分かりやすい情報提供について営業担当者の意識付けを徹底しております。</p>

### 3. 利益相反の適切な管理

主な取組内容（計画）	取組状況
<p>○ 利益相反管理の実効性にかかる分析・評価および結果を踏まえた改善策の検討・実施</p>	<p>○ 新規業務や商品、サービス等の導入にあたっては、利益相反管理の要否を確認するとともに、商品販売状況等のモニタリングにおいて、利益相反管理が必要な商品等の取扱いがないこと、および利益相反管理の実効性にかかる問題はないことを確認しております。</p>

### 4. 社内の体制強化および啓蒙

主な取組内容（計画）	取組状況
<p>○ 各種研修会等を通じたお客さま本位の取組みの指導・啓蒙（研修カリキュラムの充実）</p>	<p>○ お客さま本位の業務運営全般にかかる社内全体の研修会を開催するとともに、コンプライアンスに重点を置いた倫理観向上のための研修会を随時実施しております。</p>

以 上